

第54回運営小委員会 議事録

1. 開催日時：令和6年3月15日（月） 10:00～12:30
2. 開催場所：三菱重工株式会社 横浜ビル 33階 3305会議室
3. 出席者：河村・藤原（電中研）、長瀬（日立GE）、杉野（日本原電）、高木・柴崎（東芝ESS）、伊藤（日立）、渡邊・阿部（東北大学）、前田（三菱重工）、平（東電）、端（JAEA）【敬称略、順不同】

4. 議事

(1) 前回議事録確認

コメント等はなく、承認された。

(2) 第23回全体会議資料について

端委員より、全体会議資料に基づき報告事項の説明があった。大きなコメントはなく承認され、全体会議に諮ることになった。

(3) 今後の定例研究会について

前田委員より、次回以降の定例研究会の進め方についての確認及び提案があった。定例研究会は年1回は対面で行うこと、幹事会社は輪番制とすることを確認した。有料の会議室の使用は原則不可（幹事会社が自社会議室を自費で提供することは問題ない）とされているため、今後は大学の講義室など費用負担の少ない方法を幹事会社が検討する。

今後のテーマとして、対面開催の回において、シニアに過去の話を提供してもらうことを検討することになった。部会員のスケジュール確保のため、可能な限り早くに日程を決め、部会員に周知する。講演料、旅費も必要となるため、講演者は各回1名程度とする等、対応を検討する。シニアの話題提供についてはサマーセミナーを活用する案の提案もあり、継続的に議論することになった。

次回定例研究会のテーマについては、原子力安全に関するもの、水・蒸気性質協会での発表内容に関するもの、PWRのステンレス鋼のSCCに関するもの等を議論した。初回（6月頃）のテーマは原子力安全に関するもの、10～11月はPWRのステンレス鋼のSCCに関するもので検討することとし、講演者の都合を勘案のうえ後日決定することとした。3月頃の対面開催では内田俊介氏に日立の会議室でご講演をお願いすることとし、春の年会と被らないように後日日程を決定することとした。

(4) 今後の春/秋の企画セッションについて

前田委員より、今後の企画セッションは、原則対面開催となる秋の大会での開催を検討することとなった。2024年3月の春の年会で実施予定のため、今回は2025年の秋とする。次回以降に具体的なテーマを議論することとなった。

(5) 広報担当・ホームページ管理WGの活動状況

藤原委員より、HP掲載情報や部会報の準備状況について説明があった。年度内の発刊とすると部会賞の記事が間に合わないため、今年度は4月以降の発刊とすることにし、各受賞者に受賞記事を依頼することとした。次年度からは1月中には部会賞の審査を終え、早めに受賞者への通達と執筆依頼を出すこととする。

昨年度の部会賞細則の更新が学会HPに反映されていないことについては、今年の改訂とあわせて庶務担当が事務局に依頼することとなった。

(6) 2023年度会計報告、2024年度予算案について

伊藤委員より、全体会議資料の会計報告ページを用いて2023年度会計と2024年度予算案についての説明があった。特に質疑等は無く、承認された。

(7) 2025年度サマーセミナーについて

前田委員より、今後のサマーセミナーの幹事会社の順番について説明があった。これまでの順番では2025年の幹事会社は三菱重工になるが、三菱重工は2024年の三部会合同セミナーの水化学部会窓口としても対応するため、2025年は東芝が幹事会社を担当することとなった。

(8) 2024年三部会合同夏期セミナー（材料部会主催）について

河村部会長より、三部会合同夏期セミナーのプログラム案について紹介があり、運営小委員会で確認した。

(9) 「1F 廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会活動報告

高木顧問より、活動内容について紹介があった。

(10) 2023年度事業報告について

平委員代行より、学会事務局に提出予定の事業報告書文案について報告があった。コメントは無く承認された。

(11) その他

- ・アジア水化学国際会議（AWC 2024）について

インド Bhabha Atomic Research Centre 主催で、11/30～12/2 に開催予定。次回からは、AWC、NPC の日本の代表者を渡邊前部会長から河村部会長に変更する。

- ・部会 HP の質問コーナーについて

長瀬副部会長より、若手から要望があった部会員向けの質問コーナーについて、HP 案の作成状況の説明があった。質問があった際の回答者の割り振り等の調整は部会長・副部会長で対応することとし、回答者のメンバーにはシニアも加わってもらうべく、調整中を進めることとなった。質問と回答については、基本的には公開はしない。

- ・学会の情報発信特別小委員会について

学会事務局からの調査依頼があり、情報発信に関する部会の活動状況の説明資料を大橋委員中心に作成したことについて、河村部会長から情報共有があった。

以 上